

欧州特許庁、新たに7言語の機械翻訳サービスを提供開始

2012年10月28日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁 (EPO) は、10月25日、機械翻訳サービス「Patent translate」において同日より新たに7言語を追加する旨、プレスリリースを行った。

「Patent translate」は、2月29日に提供が開始されたものであり、Google との協力に基づき、英語と、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語およびスウェーデン語との間での特許文献の機械翻訳を無料で利用可能としている。今回、新たに、デンマーク語、オランダ語、フィンランド語、ギリシャ語、ハンガリー語、ノルウェー語、ポーランド語の7言語が追加され、合計14の欧州言語が利用可能となった。ただし、英語をハブ言語としているため、英語以外の言語同士での機械翻訳は提供されていない。

今後、EPO は、2014年末までに、EPC 締約国の28の公用語に加えて、中国語、日本語、韓国語、ロシア語の合計32言語について機械翻訳サービスを提供する予定であるとされている。

同プレスリリースによれば、本サービスは欧州企業の研究開発プロジェクトのための関連特許文献の調査や特定を支援するものであり、世界中の7500万件以上の文献を含むEPOの無料の特許データベースである「Espacenet」に統合される。また、翻訳に関する重要な要素を含んでいる将来の単一特許の実現を促進させることも期待されており、企業の翻訳負担を軽減させる単一特許に関して、全ての公用語において特許文献への無料アクセスを提供する手段として一層重要になるとしている。そして、本サービスの発展は、特許情報の世界の主導的なプロバイダーとしてのEPOの役割を明確にするとされている。

EPO のパティステリ長官は、同プレスリリースにおいて次のとおりコメントしている。「Patent Translate は、特許文献から言語障壁を取り除くことによって、欧州のイノベーター及び企業に対して最先端技術へのアクセスを実現するものである。とても多くのユーザーに対して、特許情報の英語での利用を可能にする一方で、この新たな一連の国々のユーザーに対しても、世界中からの特許文献へのより良いアクセスを提供できることは光栄である。これは特許品質を確保する上での重要なステップであり、欧州企業の競争力強化に貢献するものである。」

— EPO のプレスリリースは、以下参照 —

[Seven new languages added to EPO's Patent Translate service](#)

－ 「Patent translate」のウェブサイトは、以下参照 －

[Patent translate](#)

－ EPO と Google の協力による機械翻訳についての欧州知的財産ニュースは、以下参照 －

[欧州特許庁, Google との協力による機械翻訳サービスの提供を開始\(2012年3月1日\)\(PDF\)](#)

[欧州特許庁, Google と機械翻訳の長期的な連携協定に合意\(2011年3月27日\)\(PDF\)](#)

[欧州特許庁, Google と機械翻訳の協力に合意\(2010年12月1日\)\(PDF\)](#)

(以上)